

第14回日本炎症性腸疾患学会学術集会 採択演題一覧【受付番号順】

受付番号	日付	時間	会場	セッション	演題番号	タイトル
C000004	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-9	多施設・多職種カンファレンスによる炎症性腸疾患患者の仕事と治療の両立を推進するプロジェクト
C000006	12月1日・金	16:10-16:46	第3会場	一般演題8 (口頭)	O8-4	岡山県西部地区における潰瘍性大腸炎合併妊娠の現状と治療経過に関する検討
C000007	12月1日・金	10:40-11:10	第4会場	一般演題12 (口頭)	O12-2	肛門周囲膿瘍・壊疽性膿皮症を合併した臨床的中等症の潰瘍性大腸炎に対してウパダシチニブが著効した一例
C000008	12月2日・土	8:50-9:20	第3会場	一般演題17 (口頭)	O17-4	中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者(日本人患者を含む)でのミリキズマブの有効性:前治療歴別解析
C000009	12月2日・土	8:50-9:20	第3会場	一般演題17 (口頭)	O17-5	LUCENT試験でミリキズマブを投与した中等症・重症潰瘍性大腸炎患者の抗薬物抗体の発現状況とその意義
C000010	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-8	潰瘍性大腸炎手術症例の肛門管癌合併症例のリスク因子と術式の検討
C000011	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-1	炎症性腸疾患の治療がT細胞の割合に与える影響
C000012	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-11	潰瘍性大腸炎患者における血小板活性化及び血小板単球複合体と粘膜炎症の相関性
C000013	12月2日・土	13:50-14:20	第4会場	一般演題27 (口頭)	O27-3	小児潰瘍性大腸炎の分子標的薬治療における5-ASA併用の有無による寛解維持率
C000014	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-10	直腸粘膜バリア機能と潰瘍性大腸炎再燃の関連について
C000015	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-10	CD関連直腸肛門部癌における現状の問題点-実際の症例から-
C000016	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-2	IBD診療におけるWeb会議を活用した新たな病病連携と若手教育の取組み (IBD Board立ち上げ)
C000017	12月1日・金	9:00-9:30	第3会場	一般演題1 (口頭)	O1-2	当院の炎症性腸疾患における5-ASA不耐症の現状
C000018	12月2日・土	13:50-14:20	第4会場	一般演題27 (口頭)	O27-4	インフリキシマブに対するinfusion reactionの臨床像-当院小児例の検討
C000019	12月1日・金	11:40-12:10	第3会場	一般演題6 (口頭)	O6-3	クローン病に対する顆粒球吸着除去療法 (GMA) の有効性と安全性の検討
C000020	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-9	潰瘍性大腸炎新規治療時代におけるCAPの位置づけと最適化
C000021	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-3	内視鏡的寛解の潰瘍性大腸炎患者におけるステロイド治療後の時間経過と再燃のリスクとの関連
C000022	12月1日・金	9:00-9:30	第4会場	一般演題9 (口頭)	O9-1	治療選択に難渋した免疫性血小板減少症合併全大腸炎型潰瘍性大腸炎の一例
C000023	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-4	ダルバドストロセルのCAF-QOLに与える影響と痔瘻症状をスコアリングする意義
C000024	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-2	サーベイランス内視鏡における潰瘍性大腸炎関連腫瘍の自然史の観察
C000025	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-8	炎症性腸疾患と診断マーカーとしてのムチン
C000026	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-7	5ASA不耐IBDと腸粘膜関連細菌叢の関連性
C000027	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-5	UC併発腫瘍に対するESDの技術的妥当性の検討
C000028	12月1日・金	9:30-10:00	第4会場	一般演題10 (口頭)	O10-1	難治潰瘍性大腸炎直腸炎型に対して生物学的製剤が有効だった1例
C000029	12月1日・金	9:00-9:30	第4会場	一般演題9 (口頭)	O9-4	小腸狭窄を繰り返した家族性地中海熱関連腸炎の一例
C000030	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-4	診診または病診連携によるGMA治療
C000031	12月1日・金	11:40-12:10	第4会場	一般演題14 (口頭)	O14-1	クローン病術後に縫合不全を来し、治療に難渋した1例
C000032	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-1	北海道道北・道東圏内における炎症性腸疾患の病病連携構築に向けた課題
C000033	12月1日・金	15:40-17:10	第1会場	ワークショップ2	WS2-1	Bio naïveクローン病患者に対するインフリキシマブ、アダリムマブ、ウステキヌマブの有効性比較
C000034	12月2日・土	14:20-14:50	第4会場	一般演題28 (口頭)	O28-3	潰瘍性大腸炎患者におけるMES1の炎症範囲に応じた寛解維持率に関する検討
C000035	12月1日・金	10:00-10:30	第3会場	一般演題3 (口頭)	O3-1	肛門病変を契機にCrohn病を疑い内視鏡検査を施行した患者の内視鏡像の検討
C000036	12月2日・土	8:50-9:20	第4会場	一般演題23 (口頭)	O23-1	潰瘍性大腸炎におけるタクロリムスの維持療法を考える
C000037	12月2日・土	9:20-9:50	第3会場	一般演題18 (口頭)	O18-1	当院における潰瘍性大腸炎に対するフィルゴチニブの有効性と安全性の検討
C000038	12月2日・土	13:50-14:20	第4会場	一般演題27 (口頭)	O27-5	小児炎症性腸疾患に対するインフリキシマブの長期予後
C000039	12月1日・金	10:00-10:30	第3会場	一般演題3 (口頭)	O3-4	腸管ベーチェット病に対する腸管超音波活動性スコア(SUS-BD)の作成と有用性の検討
C000040	12月1日・金	10:40-11:10	第3会場	一般演題4 (口頭)	O4-1	患者調査および生活ビッグデータに基づく潰瘍性大腸炎患者のアンメットニーズ解析
C000041	12月1日・金	9:30-10:00	第4会場	一般演題10 (口頭)	O10-2	メサラジン投与により心膜心筋炎をきたした潰瘍性大腸炎の一例
C000042	12月1日・金	16:10-16:40	第4会場	一般演題16 (口頭)	O16-2	潰瘍性大腸炎合併大腸癌12例におけるがん遺伝子パネル検査
C000043	12月1日・金	10:40-12:10	第1会場	パネルディスカッション1	PD1-4	小児IBD治療指針の作成~厚労科研調査研究班における小児診療科と成人診療科の連携~
C000044	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-1	潰瘍性大腸炎における非抗TNF生物学的製剤の短期治療効果:多施設共同前向き観察研究
C000045	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-5	潰瘍性大腸炎におけるJAK阻害剤の使い分けと重症例に対する有効性

第14回日本炎症性腸疾患学会学術集会 採択演題一覧【受付番号順】

受付番号	日付	時間	会場	セッション	演題番号	タイトル
C000046	12月2日・土	13:20-13:50	第3会場	一般演題20(口頭)	O20-4	当院における潰瘍性大腸炎に対するウステキヌマブの有効性の検討
C000047	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-10	IBD医療の職種間連携と医療ソーシャルワーカーの役割—アンケート調査結果から多職種支援を考える—
C000048	12月2日・土	9:20-9:50	第4会場	一般演題24(口頭)	O24-2	Treat to Targetの観点を踏まえた当院の難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療戦略
C000049	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-2	実臨床における潰瘍性大腸炎患者に対するベドリズムマブの治療効果と有効性に関連する因子の検討
C000050	12月1日・金	9:30-10:00	第4会場	一般演題10(口頭)	O10-3	COVID-19ワクチン接種を契機に血小板減少性紫斑病と壊疽性膿皮症を併発した潰瘍性大腸炎の1例
C000051	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-10	潰瘍性大腸炎に対する顆粒球除去療法による寛解維持療法の治療成績：前向き臨床試験
C000052	12月1日・金	10:40-11:10	第3会場	一般演題4(口頭)	O4-5	65歳以上の潰瘍性大腸炎患者の下痢症状に伴う心理的・身体的ストレス反応
C000053	12月2日・土	8:50-9:20	第3会場	一般演題17(口頭)	O17-3	当院における潰瘍性大腸炎に対するベドリズムマブの治療成績と内視鏡的評価
C000054	12月1日・金	16:10-16:46	第3会場	一般演題8(口頭)	O8-5	「炎症性腸疾患患者における就労支援についての利用状況とニーズに関する実態」について
C000055	12月2日・土	13:20-13:50	第4会場	一般演題26(口頭)	O26-1	潰瘍性大腸炎手術における腸閉塞発症リスク因子の検討
C000056	12月1日・金	9:00-9:30	第4会場	一般演題9(口頭)	O9-5	MEFV遺伝子変異のある親子例
C000057	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-2	5-ASA製剤の服薬アドヒアランス不良を予測する因子の検討
C000058	12月2日・土	9:20-9:50	第3会場	一般演題18(口頭)	O18-2	高齢者潰瘍性大腸炎治療における新規JAK阻害薬の有用性と安全性
C000059	12月1日・金	15:40-17:10	第1会場	ワークショップ2	WS2-2	実臨床におけるクローン病に対するリサンキズマブ導入療法の有効性
C000060	12月2日・土	9:50-10:26	第3会場	一般演題19(口頭)	O19-4	実臨床における潰瘍性大腸炎患者に対するウパダシチニブの有効性の検討
C000061	12月2日・土	9:20-9:50	第3会場	一般演題18(口頭)	O18-3	当院におけるJAK阻害剤(フィルゴチニブ)の内視鏡的寛解と組織学的寛解を含めた短期成績
C000062	12月2日・土	14:20-14:56	第3会場	一般演題22(口頭)	O22-1	中等症から重症のクローン病患者におけるリサンキズマブの長期有効性と安全性：104週の結果
C000063	12月2日・土	9:20-9:50	第3会場	一般演題18(口頭)	O18-4	潰瘍性大腸炎に対するUpadacitinibの短期治療成績
C000064	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-7	炎症性腸疾患患者を対象としたQOLの実態調査
C000065	12月2日・土	13:20-14:30	第2会場	プレナリーセッション	PS-2	Superb micro-vascular imagingによるUCと非IBD腸炎の直腸病変の鑑別
C000066	12月1日・金	11:40-12:10	第4会場	一般演題14(口頭)	O14-5	肛門狭窄病変より直腸癌が発覚し手術加療に至ったクローン病の一例
C000067	12月1日・金	10:40-12:10	第1会場	パネルディスカッション1	PD1-3	若年IBD患者に対する抗TNF抗体維持療法の継続率および二次無効出現率の検討
C000068	12月1日・金	9:00-9:30	第3会場	一般演題1(口頭)	O1-1	潰瘍性大腸炎診療におけるメサラジン不耐症例に関する臨床検討
C000069	12月1日・金	9:30-10:00	第4会場	一般演題10(口頭)	O10-4	活動期潰瘍性大腸炎に対しJAK阻害薬をスイッチして使用した3例
C000070	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-3	炎症性腸疾患の薬物療法の質向上を目指した薬剤師外来の効果
C000071	12月1日・金	9:00-9:30	第4会場	一般演題9(口頭)	O9-2	クローン病の母の短腸に起因したビタミンK吸収障害が原因と思われる新生児小脳出血の一例
C000072	12月2日・土	13:20-13:50	第4会場	一般演題26(口頭)	O26-2	潰瘍性大腸炎大腸全摘術施行例における臨床的背景と周術期合併症の比較検討
C000073	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-14	寛解期潰瘍性大腸炎における生活習慣の制限と再燃・QOLの関連：YOURS前向きコホート研究
C000074	12月2日・土	9:20-9:50	第3会場	一般演題18(口頭)	O18-5	潰瘍性大腸炎に対するトファシチニブとフィルゴチニブの短期有効性および安全性
C000075	12月2日・土	8:50-9:20	第4会場	一般演題23(口頭)	O23-5	中等症～重症の潰瘍性大腸炎患者におけるグセルクマブ導入療法の組織学的・内視鏡的転帰：QUASAR試験
C000076	12月1日・金	11:40-12:10	第3会場	一般演題6(口頭)	O6-1	GMA治療患者の意識調査
C000077	12月1日・金	9:30-10:00	第4会場	一般演題10(口頭)	O10-5	トファシチニブ長期投与により寛解が得られた潰瘍性大腸炎ステロイド依存例の一例
C000078	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-6	潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害薬3剤の有用性
C000079	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-4	5-ASA不耐をきたした潰瘍性大腸炎患者の臨床的特徴の検討
C000080	12月2日・土	13:20-14:30	第2会場	プレナリーセッション	PS-7	潰瘍性大腸炎におけるトファシチニブの治療反応予測に関連する因子の探索的研究
C000081	12月1日・金	9:00-9:30	第3会場	一般演題1(口頭)	O1-3	メサラジン不耐症を有する潰瘍性大腸炎患者の治療に関する検討：多施設共同後方視的研究
C000082	12月2日・土	8:50-9:20	第4会場	一般演題23(口頭)	O23-2	タクロリムス抵抗性潰瘍性大腸炎に対するインフリキシマブ追加併用療法に関する臨床的検討
C000083	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-3	IBD診療における病診連携の検討
C000084	12月1日・金	11:10-11:40	第4会場	一般演題13(口頭)	O13-5	ウステキヌマブが奏功したtrisomy8陽性骨髄異形成症候群に伴う多発小腸潰瘍症の1例
C000085	12月1日・金	11:10-11:40	第3会場	一般演題5(口頭)	O5-1	Crohn病に対する血清アマロイドAのバイオマーカーとしての有用性の検討
C000086	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-7	潰瘍性大腸炎の寛解導入におけるJAK阻害薬3剤の比較検討

第14回日本炎症性腸疾患学会学術集会 採択演題一覧【受付番号順】

受付番号	日付	時間	会場	セッション	演題番号	タイトル
C000087	12月1日・金	10:00-10:30	第3会場	一般演題3 (口頭)	03-5	腸管ベーチェット病の術前腸管エコー所見と手術病理所見との比較
C000088	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-9	当院におけるAcute Severe Ulcerative Colitisに対する内科的治療変遷
C000089	12月1日・金	10:00-10:30	第3会場	一般演題3 (口頭)	03-2	クローン病の内視鏡的活動を予測する消化管超音波検査所見に関する検討
C000090	12月2日・土	8:50-9:20	第3会場	一般演題17 (口頭)	O17-1	潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブの皮下注射12週間隔投与に関する検討
C000091	12月2日・土	8:50-9:20	第3会場	一般演題17 (口頭)	O17-2	潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブ治療開始後52週の臨床的寛解の予測因子の検討
C000092	12月1日・金	10:40-11:10	第3会場	一般演題4 (口頭)	04-2	当院の炎症性腸疾患症例の生誕年と発症年齢の相関に関する検討
C000093	12月1日・金	15:40-16:10	第3会場	一般演題7 (口頭)	07-4	潰瘍性大腸炎における便意切迫感と内視鏡・組織学的活動性との相関
C000094	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-1	5-ASA製剤またはhalf EDで治療可能なクローン病症例の特徴
C000095	12月1日・金	15:40-16:10	第4会場	一般演題15 (口頭)	O15-1	IBDセンター専属看護師(IBD-Ns)による診察前問診の導入による効果
C000096	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-6	クローン病合併痔瘻に対し内科・外科療法の併用は患者の長期的QOLを改善する
C000097	12月2日・土	9:50-10:26	第3会場	一般演題19 (口頭)	O19-1	潰瘍性大腸炎に対するフィルゴチニブの有用性 自験19例の検討
C000098	12月2日・土	13:20-13:50	第4会場	一般演題26 (口頭)	O26-3	内科治療抵抗を示した潰瘍性大腸炎への外科治療成績
C000099	12月2日・土	13:20-13:50	第3会場	一般演題20 (口頭)	O20-1	潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストのリアルワールドとbiologicsとのdual therapy
C000100	12月1日・金	10:00-10:30	第4会場	一般演題11 (口頭)	O11-5	繰り返す発熱とともに著明な鼠径リンパ節の腫大を認め、治療に難渋したクローン病の一症例
C000101	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-4	潰瘍性大腸炎におけるフィルゴチニブの有効性と安全性に関するリアルワールドデータ解析
C000102	12月2日・土	8:50-9:20	第4会場	一般演題23 (口頭)	O23-4	中等症から重症の潰瘍性大腸炎に対するグセルクマブ療法における12週間での炎症性バイオマーカー改善
C000103	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-3	初発症状が肛門部瘻孔および肛門周囲膿瘍で発症した若年クローン病患者の肛門病変の長期予後と治療
C000104	12月1日・金	10:00-10:30	第4会場	一般演題11 (口頭)	O11-1	肉芽腫性口唇炎の診断を契機にクローン病が判明した2症例
C000105	12月2日・土	13:20-13:50	第4会場	一般演題26 (口頭)	O26-4	術後QOLを考慮しても潰瘍性大腸炎患者に対する術式は大腸全摘術か？
C000106	12月1日・金	11:10-11:40	第4会場	一般演題13 (口頭)	O13-1	慢性下痢症で発症したEnterocolic lymphocytic phlebitisの一例
C000107	12月2日・土	13:20-13:50	第4会場	一般演題26 (口頭)	O26-5	当科での潰瘍性大腸炎大腸癌術後補助化学療法の経験
C000108	12月1日・金	10:40-11:10	第4会場	一般演題12 (口頭)	O12-3	多剤生物学的製剤が無効であった慢性持続型難治性潰瘍性大腸炎にカロテグラストメチルが著効した一例
C000109	12月2日・土	9:50-10:26	第3会場	一般演題19 (口頭)	O19-2	難治性潰瘍性大腸炎治療におけるウパダシチニブの使用成績
C000110	12月2日・土	14:20-14:56	第3会場	一般演題22 (口頭)	O22-2	クローン病におけるベースライン時の臨床的、生化学的及び内視鏡的疾患重症度別のリサンキズマブの有効性
C000111	12月2日・土	9:50-10:26	第3会場	一般演題19 (口頭)	O19-6	潰瘍性大腸炎患者におけるウパダシチニブの有効性及び安全性:第III相継続投与試験の中間解析
C000112	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-13	メタボローム解析を用いた炎症性腸疾患に対する新規治療法の開発
C000113	12月2日・土	9:50-10:26	第3会場	一般演題19 (口頭)	O19-3	日本人潰瘍性大腸炎患者のフィルゴチニブの長期有効性と安全性—SELECTIONLTEの部分集団解析
C000114	12月2日・土	14:20-14:56	第3会場	一般演題22 (口頭)	O22-4	ウパダシチニブを投与した中等症から重症の活動性クローン病患者での副腎皮質ステロイドの中止と転帰
C000115	12月2日・土	14:20-14:56	第3会場	一般演題22 (口頭)	O22-5	中等症から重症のクローン病患者での生物学的製剤使用歴のウパダシチニブの有効性への影響
C000116	12月1日・金	15:40-16:10	第4会場	一般演題15 (口頭)	O15-2	炎症性腸疾患の排便スケール作成における当院IBDチームの取り組み
C000117	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-1	IBDチーム医療における医事課の取り組み
C000118	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-8	潰瘍性大腸炎患者に対するJAK阻害剤3剤のリアル・ワールド・データと有効性
C000120	12月2日・土	13:20-14:30	第2会場	プレナリーセッション	PS-1	本邦クローン病患者における臨床的特徴及び日常生活への影響:多施設レジストリ研究
C000121	12月1日・金	15:40-17:10	第1会場	ワークショップ2	WS2-3	リアルワールドにおけるrisankizumabのクローン病に対する有効性及び安全性の検討
C000122	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-6	クリニックにおいて外科治療が必要な炎症性腸疾患患者に対する看護の実態調査
C000123	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-11	潰瘍性大腸炎のタクロリムスによる寛解導入療法後のウステキヌマブとベドリズマブによる維持治療の比較検討
C000124	12月2日・土	13:50-14:20	第3会場	一般演題21 (口頭)	O21-1	潰瘍性大腸炎患者に対するGUS導入療法の有効性:QUASAR第3相試験 前治療歴別評価
C000125	12月2日・土	13:50-14:20	第3会場	一般演題21 (口頭)	O21-2	活動性潰瘍性大腸炎に対するグセルクマブ導入療法の早期症状改善:QUASAR第3相導入試験
C000126	12月2日・土	13:20-14:30	第2会場	プレナリーセッション	PS-5	経会陰腸管エコーの直腸壁肥厚早期改善は、潰瘍性大腸炎の内視鏡的・組織学的治癒を予測する
C000127	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-3	潰瘍性大腸炎罹患粘膜に発生した腫瘍における術前生検診断能の検討
C000128	12月2日・土	13:20-14:30	第2会場	プレナリーセッション	PS-3	当院における日本人IBD合併妊婦に対するチオプリン製剤の安全性

第14回日本炎症性腸疾患学会学術集会 採択演題一覧【受付番号順】

受付番号	日付	時間	会場	セッション	演題番号	タイトル
C000129	12月1日・金	15:40-16:10	第4会場	一般演題15(口頭)	O15-3	炎症性腸疾患患者に対する就労支援の実態調査と看護師の役割
C000130	12月2日・土	14:20-14:50	第4会場	一般演題28(口頭)	O28-1	潰瘍性大腸炎生物学的製剤休薬症例におけるメサラジン注腸による寛解維持療法
C000131	12月1日・金	11:40-12:10	第3会場	一般演題6(口頭)	O6-4	潰瘍性大腸炎におけるイムノピュアによる週2回の血球成分除去療法の寛解維持率に関する検討
C000132	12月1日・金	15:40-17:10	第1会場	ワークショップ2	WS2-5	TNF α 阻害剤投与中のクローン病手術症例の術後治療選択に関する検討
C000133	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-8	クローン病肛門病変の生物学的製剤に対する内視鏡評価
C000134	12月1日・金	16:10-16:40	第4会場	一般演題16(口頭)	O16-1	寛解期クローン病患者の食事に対する認識：生物学的製剤登場による変化
C000135	12月1日・金	15:40-16:10	第4会場	一般演題15(口頭)	O15-4	IBD薬物療法における医師と薬剤師との職種間連携-IBDセンター薬剤師外来の取り組み-
C000136	12月1日・金	11:40-12:10	第4会場	一般演題14(口頭)	O14-2	完全内臓逆位を伴うクローン病に対し、単孔式腹腔鏡下回盲部切除術を施行した1例
C000137	12月1日・金	10:00-10:30	第4会場	一般演題11(口頭)	O11-2	肉芽腫性肝炎および多発肺結節を合併したクローン病の1例
C000138	12月2日・土	14:20-14:50	第4会場	一般演題28(口頭)	O28-5	炎症性腸疾患患者における非医学的なインフリキシマブバイオシミラーへのスイッチに関する臨床効果と安全性
C000139	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-15	日本人集団でにおける炎症性腸疾患による免疫アレルギー疾患の因果効果の推定
C000140	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-5	潰瘍性大腸炎の外科治療における病病、病診連携の現状
C000141	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-7	肛門部瘻孔を有するクローン病症例の診療における多職種連携の重要性
C000142	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-8	当院における潰瘍性大腸炎に対する顆粒球除去療法の検討
C000143	12月1日・金	9:30-10:00	第3会場	一般演題2(口頭)	O2-2	炎症性腸疾患における血清ステロールのメタボローム解析
C000144	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-4	潰瘍性大腸炎関連腫瘍の臨床病理学的特徴と手術治療
C000145	12月1日・金	11:10-11:40	第4会場	一般演題13(口頭)	O13-2	当科における地中海熱遺伝子関連腸炎を疑った症例の検討
C000146	12月2日・土	13:50-14:20	第3会場	一般演題21(口頭)	O21-5	アジア人の潰瘍性大腸炎患者に対するウステキヌマブ4年継続投与の有効性と安全性：UNIFI試験最終報告
C000147	12月2日・土	13:50-14:20	第3会場	一般演題21(口頭)	O21-3	中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者に対するグセルクマブの有効性と安全性：QUASAR第3相導入試験
C000148	12月1日・金	15:40-17:10	第1会場	ワークショップ2	WS2-4	当院のクローン病に対するリサンキズマブの寛解導入期の有効性と安全性についての検討
C000149	12月1日・金	9:00-9:30	第3会場	一般演題1(口頭)	O1-4	潰瘍性大腸炎治療におけるアザチオプリン不耐例についての検討
C000150	12月2日・土	13:20-13:50	第3会場	一般演題20(口頭)	O20-5	潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブ8週維持投与からの投与間隔延長症例の検討
C000151	12月1日・金	11:10-11:40	第3会場	一般演題5(口頭)	O5-3	新規診断CDの1年目治療における全身性ステロイド導入後のバイオ製剤への切り替えに関連する因子の解析
C000152	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-8	炎症性腸疾患患者の診療の質向上にむけた医・薬・患連携体制の構築
C000153	12月2日・土	14:20-14:50	第4会場	一般演題28(口頭)	O28-2	潰瘍性大腸炎に対するステロイド治療の有効性と問題点
C000154	12月1日・金	10:40-11:10	第3会場	一般演題4(口頭)	O4-4	IBD患者のコミュニティサイト投稿文章からテキストマイニングを応用し抽出される患者ニーズに関する研究
C000155	12月1日・金	10:40-12:10	第1会場	パネルディスカッション1	基調講演	日本小児炎症性腸疾患レジストリ研究の成果と課題
C000156	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-6	潰瘍性大腸炎関連腫瘍性病変に対する内視鏡的切除術の有効性に関する多施設登録研究
C000157	12月1日・金	15:40-16:10	第4会場	一般演題15(口頭)	O15-5	抗体製剤の自己注射を行う炎症性腸疾患患者への服薬指導経験のある薬局薬剤師を対象としたアンケート調査
C000158	12月1日・金	10:00-10:30	第3会場	一般演題3(口頭)	O3-3	クローン病における内視鏡とCT enterographyとの併用効果に関する検討
C000159	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-9	潰瘍性大腸炎大腸関連大腸癌におけるリゾリン脂質関連蛋白に関する検討
C000160	12月2日・土	9:50-10:26	第4会場	一般演題25(口頭)	O25-1	当院における高齢者潰瘍性大腸炎に対する手術の検討
C000161	12月1日・金	9:30-10:00	第3会場	一般演題2(口頭)	O2-3	当院における潰瘍性大腸炎患者に対するLRGの活用法の検討
C000162	12月1日・金	15:40-16:10	第3会場	一般演題7(口頭)	O7-3	AI支援大腸内視鏡システムを用いた内視鏡的粘膜寛解における組織学的治癒の割合の比較
C000163	12月2日・土	14:20-14:50	第4会場	一般演題28(口頭)	O28-4	潰瘍性大腸炎におけるアザチオプリン休薬後の再燃と臨床的背景の検討
C000164	12月1日・金	11:40-12:10	第3会場	一般演題6(口頭)	O6-2	血球成分除去療法の上乗せ効果の有効性
C000165	12月1日・金	15:40-17:10	第1会場	ワークショップ2	WS2-7	クローン病の難治性直腸肛門病変に対する人工肛門造設、直腸肛門空置の術後成績と問題点
C000166	12月2日・土	9:20-9:50	第4会場	一般演題24(口頭)	O24-4	新規潰瘍性大腸炎治療剤カロテグラストメチルの治療成績(第二報)
C000167	12月2日・土	13:50-14:20	第3会場	一般演題21(口頭)	O21-4	潰瘍性大腸炎に対するウステキヌマブの前治療が奏功に与える影響
C000168	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-13	Special situationにおける潰瘍性大腸炎治療選択の現状
C000169	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-7	当院における潰瘍性大腸炎に対するステロイド強力静注療法の治療成績と効果関連因子の検討

第14回日本炎症性腸疾患学会学術集会 採択演題一覧【受付番号順】

受付番号	日付	時間	会場	セッション	演題番号	タイトル
C000170	12月1日・金	10:40-11:10	第4会場	一般演題12(口頭)	O12-1	遅発性5-アミノサリチル酸アレルギーをきたした右側結腸炎型潰瘍性大腸炎の1例
C000171	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-7	当院におけるIBD外来診療での多職種連携と今後の課題について
C000172	12月1日・金	10:40-11:10	第4会場	一般演題12(口頭)	O12-5	多発血栓症をきたした潰瘍性大腸炎の一例
C000173	12月1日・金	9:00-9:30	第3会場	一般演題1(口頭)	O1-5	当院における5-ASA・ステロイド混合注腸の治療成績
C000174	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-3	当院における潰瘍性大腸炎初診患者の5-ASA製剤不耐の頻度と治療経過の検討
C000175	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-11	クローン病における炎症性腸疾患関連消化管癌に対する補助化学療法・化学療法についての検討
C000176	12月1日・金	10:40-11:10	第3会場	一般演題4(口頭)	O4-3	ステロイド依存性潰瘍性大腸炎患者の治療パターンと予後の実態調査ーレセプトデータベースを用いた解析
C000177	12月1日・金	11:40-12:10	第3会場	一般演題6(口頭)	O6-5	当院における潰瘍性大腸炎に対する顆粒球除去療法の臨床効果および有効性予測因子
C000178	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-2	インフリキシマブ投与中の潰瘍性大腸炎におけるトラフ濃度測定とその後の経過
C000179	12月1日・金	11:40-12:10	第4会場	一般演題14(口頭)	O14-4	後腹膜膿瘍、瘻孔を合併したクローン病に対し単孔式腹腔鏡下結腸全摘術を施行した1例
C000180	12月1日・金	16:10-16:46	第3会場	一般演題8(口頭)	O8-2	炎症性腸疾患患者の退院後生活を意識した実践的看護の実現に向けた新たな取り組み
C000181	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-1	痔瘻を合併したクローン病患者の自己効力感の実態調査
C000182	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-9	当院の内科・外科・肛門科から構成されるIBDセンターによるクローン病治療の実際
C000183	12月2日・土	9:50-10:26	第4会場	一般演題25(口頭)	O25-2	虫垂切除術が潰瘍性大腸炎の病勢に及ぼす影響
C000184	12月1日・金	10:40-12:10	第1会場	パネルディスカッション1	PD1-5	IBD患者の成人移行支援(トランジション)の現状と課題
C000185	12月1日・金	11:10-11:40	第3会場	一般演題5(口頭)	O5-4	骨格筋筋肉量・脂肪量や内科治療変遷からみたクローン病術後長期経過
C000186	12月2日・土	13:50-14:20	第4会場	一般演題27(口頭)	O27-1	小児潰瘍性大腸炎直腸炎型の自然歴と予後因子の検討
C000187	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-2	クローン病肛門病変をもつひとへの看護師の課題と支援
C000188	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-4	ASUCにおけるステロイド大量静注療法後の寛解導入治療としてのタクロリムスとインフリキシマブの比較
C000189	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-2	IBDチームにおける医師と薬剤師の協働による効果的なPBPMの実現
C000190	12月1日・金	9:30-10:00	第3会場	一般演題2(口頭)	O2-4	中等症~重症の潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害剤の治療効果予測マーカーの検討
C000191	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-5	パーキンソン病既往の分類不能腸炎患者への多職種連携による実践
C000192	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-6	5-ASA製剤を適切に、かつ最大限に使用するために ~製剤変更の有効性~
C000194	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-12	炎症性腸疾患患者の腸管粘膜でのケトン体合成能についての検討
C000195	12月1日・金	16:10-16:40	第4会場	一般演題16(口頭)	O16-5	炎症性腸疾患合併鉄欠乏性貧血に対するクエン酸第二鉄水和物の安全性・有効性の検討
C000196	12月1日・金	15:40-16:10	第3会場	一般演題7(口頭)	O7-2	高齢者潰瘍性大腸炎における血球成分除去療法の有効性について
C000197	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-6	小児炎症性腸疾患におけるバイオマーカーとしての抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体
C000198	12月2日・土	13:20-13:50	第3会場	一般演題20(口頭)	O20-2	潰瘍性大腸炎に対する新規JAK阻害薬filgotinibの短期治療成績
C000199	12月1日・金	15:40-16:10	第3会場	一般演題7(口頭)	O7-5	COVID-19蔓延下においてFCP値を指標とした治療の強化は内視鏡に基づく強化と同程度に有効か?
C000200	12月1日・金	16:10-16:40	第4会場	一般演題16(口頭)	O16-4	レセプトデータを用いた本邦の潰瘍性大腸炎治療における後発医薬品処方実態の解明
C000201	12月2日・土	13:20-14:30	第2会場	プレナリーセッション	PS-6	本邦レセプトデータを用いた分子標的薬時代における潰瘍性大腸炎新規発症例の長期予後の解析
C000202	12月1日・金	16:10-16:40	第4会場	一般演題16(口頭)	O16-3	炎症性腸疾患の寛解期に果たす口腔ケアの役割:口腔と腸内細菌叢に着目した介入研究
C000203	12月1日・金	16:10-16:46	第3会場	一般演題8(口頭)	O8-3	訪問看護を必要とした在宅中心静脈栄養療法中のクローン病患者の検討
C000204	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-4	炎症性腸疾患専門外来における薬剤師外来の有用性の検討
C000205	12月2日・土	9:50-10:26	第4会場	一般演題25(口頭)	O25-4	クローン病難治性直腸肛門病変に対する直腸切断術後長期経過
C000206	12月1日・金	10:40-12:10	第1会場	パネルディスカッション1	PD1-1	日本小児炎症性腸疾患レジストリ研究:小児潰瘍性大腸炎の治療経過と予後
C000207	12月2日・土	13:20-14:30	第2会場	プレナリーセッション	PS-4	小児炎症性腸疾患におけるレミチェックQ®を用いた血中インフリキシマブトラフ濃度の検討:多施設共同研究
C000208	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-1	Colitic cancer合併潰瘍性大腸炎における術前内科治療の変遷
C000209	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-9	クローン病に合併した直腸肛門部癌 当科の経験
C000210	12月1日・金	10:40-12:10	第2会場	ワークショップ1	WS1-5	炎症性腸疾患における5-ASA不耐症の臨床像と内視鏡像
C000211	12月2日・土	9:20-9:50	第4会場	一般演題24(口頭)	O24-5	日本人潰瘍性大腸炎患者に対するOzanimodの1日1回経口投与での第2/3相試験結果

第14回日本炎症性腸疾患学会学術集会 採択演題一覧【受付番号順】

受付番号	日付	時間	会場	セッション	演題番号	タイトル
C000212	12月1日・金	10:40-11:10	第4会場	一般演題12(口頭)	O12-4	ベドリズマブにて加療を行った好酸球性胃腸症合併潰瘍性大腸炎の1例
C000213	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-8	職種間連携で取り組んでいる“IBD子ども倶楽部”の紹介と課題
C000214	12月1日・金	10:40-12:10	第1会場	パネルディスカッション1	PD1-2	日本小児炎症性腸疾患レジストリ研究：腹部手術症例の検討結果と課題
C000215	12月1日・金	11:10-11:40	第3会場	一般演題5(口頭)	O5-2	クローン病初回診断時の消化管生検による非乾酪性類上皮細胞肉芽腫検出率
C000216	12月1日・金	10:00-10:30	第4会場	一般演題11(口頭)	O11-3	Crohn病の経過中にIFALDが原因と考えられる末期肝不全をきたした1例
C000217	12月1日・金	16:10-16:46	第3会場	一般演題8(口頭)	O8-6	IBD診療への薬剤師の関わり方に対する均てん化の取り組み～院内ver.～
C000218	12月2日・土	14:20-14:56	第3会場	一般演題22(口頭)	O22-3	クローン病術後吻合部潰瘍・小腸病変に対するリサンキズマブの使用について
C000219	12月1日・金	11:10-11:40	第4会場	一般演題13(口頭)	O13-3	Trisomy 8陽性骨髄異形成症候群に合併した腸管ベーチェット病類似腸炎の一例
C000220	12月2日・土	9:50-10:26	第4会場	一般演題25(口頭)	O25-6	Crohn病に合併した腸管機能不全に対するtedglutideの効果の検討
C000221	12月2日・土	9:50-10:26	第4会場	一般演題25(口頭)	O25-3	高齢者潰瘍性大腸炎における手術例の検討
C000222	12月2日・土	9:50-10:26	第4会場	一般演題25(口頭)	O25-5	19年間の長期に観察している分類不能腸炎の1例
C000223	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-12	潰瘍性大腸炎に対する周術期感染性合併症のリスク因子解析
C000224	12月1日・金	15:40-16:10	第3会場	一般演題7(口頭)	O7-1	潰瘍性大腸炎に対するGMAの有用性についての検討
C000225	12月2日・土	14:20-14:56	第3会場	一般演題22(口頭)	O22-6	ウステキヌマブ投与中のクローン病患者における免疫調節薬併用の効果
C000226	12月2日・土	13:50-14:20	第4会場	一般演題27(口頭)	O27-2	小児クローン病におけるgranuloma検出率への粘膜生検時の病期、部位、治療薬の影響に関する検討
C000227	12月2日・土	9:20-9:50	第4会場	一般演題24(口頭)	O24-3	本邦におけるクローン病治療のT2T ストラテジーの認知・実施度の実態：全国オンライン調査
C000228	12月1日・金	9:00-9:30	第4会場	一般演題9(口頭)	O9-3	兄弟で5-ASA 不耐症を認めた小児期発症の潰瘍性大腸炎患者2症例
C000229	12月2日・土	8:50-9:20	第4会場	一般演題23(口頭)	O23-3	潰瘍性大腸炎に対するゴリムマブの使用成績
C000230	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-10	当院で加療を行なった重症潰瘍性大腸炎81例の検討
C000231	12月2日・土	08:50-10:20	第1会場	シンポジウム2	SY2-7	潰瘍性大腸炎合併大腸腫瘍に対する内視鏡的診断・治療の問題点
C000232	12月2日・土	15:50-17:20	第1会場	パネルディスカッション3	PD3-3	JAK阻害剤の潰瘍性大腸炎に対する有用性と安全性の検討
C000233	12月1日・金	16:10-16:46	第3会場	一般演題8(口頭)	O8-1	炎症性腸疾患 (IBD) 診療における病診連携 拠点病院の現況について
C000234	12月2日・土	08:50-10:20	第2会場	ワークショップ4	WS4-6	クローン病の短腸症候群に対する多職種連携
C000235	12月1日・金	15:40-17:10	第1会場	ワークショップ2	WS2-6	リアルワールドデータからみたクローン病腸管手術例における術後生物学的製剤投与の現状と問題点
C000236	12月2日・土	9:20-9:50	第4会場	一般演題24(口頭)	O24-1	潰瘍性大腸炎におけるヤヌスキナーゼ阻害薬の臨床症状とバイオマーカーによる有効性評価と安全性の検討
C000237	12月2日・土	13:20-14:50	第1会場	パネルディスカッション2	PD2-9	炎症性腸疾患 (IBD) 患者支援における管理栄養士と他職種の連携
C000238	12月1日・金	11:10-11:40	第4会場	一般演題13(口頭)	O13-4	GCAP維持療法が有効であったIBD-Uの1例
C000239	12月1日・金	15:40-17:10	第2会場	ワークショップ3	WS3-5	潰瘍性大腸炎に合併するCMV腸炎と血清バイオマーカーおよび腸管粘膜サイトカインの検討
C000240	12月1日・金	11:40-12:10	第4会場	一般演題14(口頭)	O14-3	結腸全摘後の残存腸管皮膚瘻膿瘍形成に対し腹腔鏡下直腸切断術施行後、会陰創に壊疽性膿皮症を来した1例
C000241	12月1日・金	11:10-11:40	第3会場	一般演題5(口頭)	O5-5	クローン病による短腸症候群患者の長期的転帰
C000242	12月1日・金	09:00-10:30	第1会場	シンポジウム1	SY1-5	肛門科病院におけるクローン病の肛門病変に対する生物学的製剤の治療成績
C000243	12月2日・土	9:50-10:26	第3会場	一般演題19(口頭)	O19-5	JAK阻害薬の安全性に関する検討
C000245	12月2日・土	13:20-13:50	第3会場	一般演題20(口頭)	O20-3	難治性潰瘍性大腸炎におけるupadacitinib投与に伴う尋常性痤瘡の解析
C000246	12月1日・金	9:30-10:00	第3会場	一般演題2(口頭)	O2-5	当院の潰瘍性大腸炎症例に対する、Biomarkerについての検討
C000247	12月1日・金	9:30-10:00	第3会場	一般演題2(口頭)	O2-1	便中カルプロテクチン迅速自動測定法 fCAL turboの潰瘍性大腸炎の内視鏡的寛解予測能の検討
C000248	12月1日・金	10:00-10:30	第4会場	一般演題11(口頭)	O11-4	カルボキシマルトース鉄、含糖酸化鉄の頻回投与によりFGF23関連骨軟化症をきたしたクローン病の一例